共にしあわせ産みだす党　日本共産党
市議団ニュース
第1984号　2021年05月23日
日本共産党　根室市議団
根室市宝林町4-203　℡0153-23-6023

新型コロナウイルス予防接種
ワクチンが予定通り供給なら、10月までに終了する見込み

大型連休から新型コロナの感染が再び拡大し、北海道は5月31日までの期間で緊急事態宣言が発出されました。根室市内でも連日感染の報告がされ、標津町では高齢者施設のクラスターが発生しました。感染・発症された皆様、関係者の皆様に心からお見舞いと一刻も早い回復をお祈りいたします。

65歳以上の予約等は約8割に

根室市は5月18日から65歳以上の優先接種が始まりました。

市は接種会場の人員配置を増員するなど様々な対応を進めており、初日は混乱なども無く約300名の方が接種を受けたそうです。接種された方は「ぜんぜん痛くなかった」と笑顔で話していました。

市のとりまとめによると、4月から先行接種してきた高齢者施設等の入所者を含め、65歳以上の方の8割以上が6月末までにワクチン接種を終える見通しです。かなり高い割合と思います。

根室市は10月までに希望する市民全てに集団接種を終了

それ以外の16歳～64歳以下の方については、6月ごろに接種券を郵送。実際の接種開始は7月頃から開始と予定されています。その中でも基礎疾患を有する方、60歳～64歳の方が、優先して接種していく形になります。

5月17日の石垣市長の行政報告によると、「ワクチンが予定通り供給されると10月には希望する市民全てに集団接種を終了できる」との見込みのようです。

ただし国の指示やワクチン供給量が実際にどうなるのかによって、スケジュールは変更になる可能性があります。

Q）高齢者で一番多い副反応は？

A）若年者同様、接種部位の痛みです。
ファイザー社のワクチンに関して、海外の臨床試験では7割程度の高齢者に起こるとの結果が出ています。
その他、頻度の高い副反応として、倦怠感、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛などが起こることがありますが、たいてい数日以内で良くなることが分かっています。（厚労省Q＆Aより）

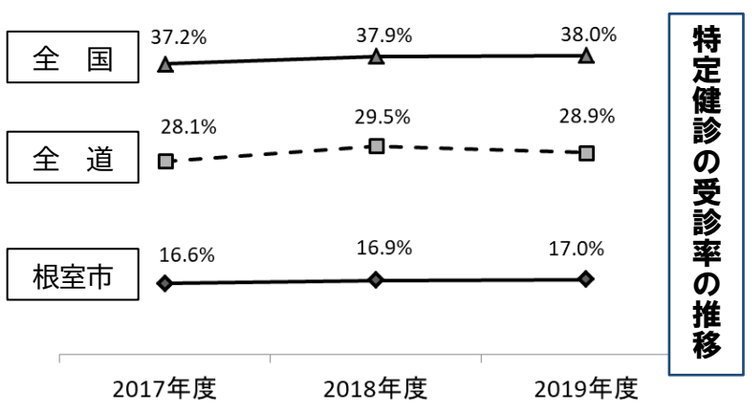
ワクチンの副反応などに関する相談は、
北海道新型コロナウイルスワクチン接種相談センター
0120-306-154（フリーダイヤル）
受付時間：9：00～17：30（平日、土日・祝日）

根室市の特定健診　コロナ禍で受診率が大きく低下か？

北海道の緊急事態宣言により、根室市が5月に予定していた「集団がん検診」が中止されました。

ところで新型コロナの影響により、昨年度から特定健診などの受診率が低下が懸念されています。市の担当課は2020年度の特定健診の受診率が11％台に留まるのではないかと予想しています。

コロナ感染を警戒した受診控えによって、逆に市民の生活習慣病や癌などの発見が遅れてしまうことが、とても心配です。



専門家からの意見を受けて菅首相が前夜までの方針を覆し、北海道にも発令された緊急事態宣言。大型連休前から陽性者数が増えていたのは明らかだったのに、「まん延防止措置」も札幌でのマラソンテスト大会が終わるのを待っていたかのようでした。

今回の発令でも後手後手ぶりが浮き彫りで、総理の記者会見が投げやりに見えたのは私だけでしょうか。

「せめて在宅で亡くなることが、ないようにしてほしい」。道医労連との懇談で、鈴木緑委員長が絞りだした言葉が胸に迫りました。

病院どころか宿泊療養施設にも入れない方が、急速に増えています。とりわけ一人暮らしの方は不安が大きいことでしょう。札幌市は区役所職員も保健所へ応援に入っていますが、命を守るためにあらゆる手立てを。

国は躊躇（ちゅうちょ）せず、必要な財政支援や検査の拡充、そして十分な補償を！

そんな時に国会では、高度急性期・急性期の病院ベッド数を全国で約20万床も減らす法案が審議されています。コロナ禍で苦しむ国民がいる目の前の現実との落差に、政府に対する腹立たしさが収まりません。

菅政権は国民の命を守る気があるのか。早く政権交代しなければとの思いでいっぱいです。

5月16日付「しんぶん赤旗」日曜版に、業者への一時支援金の申請について記事が載っています。

命やくらしを支えるため日本共産党はがんばります。お困りごとは遠慮なく、ご連絡ください。私もくりかえし国へ訴えます。

かけある記

前衆議院議員
畠山　和也